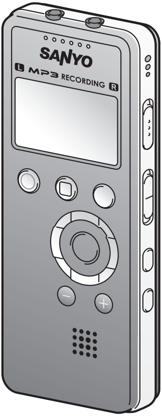
# 取扱説明書

保証書付

# IC レコーダー
# 品番 ICR-S003M




はじめに
準 備
録 音
再 生
消 去
タイマー
分 割
設 定
パソコン
困ったときは
資 料

お買い上げいただきまして、ありがとうございました。
ご使用前に必ず本書をよくお読みください。お読みになった後は、すぐに見られる場所に保管してください。
この取扱説明書は「保証書付」です。「お買い上げ日」、「販売店」などが正しく記載されているか必ずご確認いただき、販売店からお受け取りください。

取扱説明書には色記号の表示を省略しています。梱包箱に表示している品番の（　　）内の記号が色記号です。

本機のご使用または故障により生じた損害、逸失利益、ご使用に要した第三者からのいかなる請求についても、当社は一切の責任を負いません。

# 目次

# 安全上のご注意

**ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。**

## 安全のため必ずお守りください。

### ■絵表示について

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、本文をお読みください。

| | |
|---|---|
| ⚠警告 | この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。 |
| ⚠注意 | この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。 |

### ■絵表示の例

| | |
|---|---|
| △ | 「注意 ( 警告を含む ) をうながす事項」を示します。 |
| ⃠ | 「してはいけない行為 ( 禁止事項 )」を示します。 |

## 本体について

### ⚠警告

### ■分解・改造しない

分解禁止

本機を分解、改造しないでください。
火災、感電の原因となります。内部の点検および修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

## ■運転中は使用しない

禁止

自動車、オートバイ、自転車などの運転をしながらヘッドホンやイヤホンなどを使用したり、細かい操作をしたり、表示画面を見ることは絶対におやめください。交通事故の原因になります。
また、歩きながら使用するときも、事故を防ぐため、周囲の交通や路面状況に十分ご注意ください。

## ■内部に水や異物を入れない、また風呂やシャワー室で使用しない

水場禁止

水や異物が入ると火災や感電の原因になります。
万一、水や異物が入ったときは、電池を抜き、お買い上げの販売店にご相談ください。

## ■大音量で長時間続けて聞きすぎない

禁止

ヘッドホンやイヤホンで聞くときに耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがありますのでご注意ください。
また、突然大きな音がでて耳を痛めることがありますのでボリュームは徐々に上げるようご注意ください。

## ■極端な温度条件のもとでは使用しない

禁止

結露などによる火災や感電の原因になります。
温度が 5℃未満、または 35℃を超える場所では使用しないでください。
湿気の多い場所で使用しないでください。身に付けている場合は、汗による湿気で故障の原因となることがあります。
水ぬれや湿気で故障と判明した場合は、保証の対象外となり無料修理はできません。

## ■置き場所に注意

禁止

湿気、ほこりの多い場所や、油煙、湯気が当たる場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。
また、窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など温度が高くなる場所に放置しないでください。火災、故障の原因となることがあります。

## ⚠注意

### ■電磁波の強い場所では使用しない

禁止

高圧ケーブルや携帯電話など、電磁波の強い場所や機器の近くでのメッセージ録音はノイズが入りますので避けてください。

### ■磁気の発生や影響する場所に近づけない

注意

磁気の発生する機器の近くに本機を置かないでください。また、本機を磁気カード類とも一緒にしないでください。磁気データが壊れて使用できなくなることがあります。

# 電池について

## ⚠注意

### ■電池は正しく入れる

注意

電池を入れるときはプラスとマイナスの向きに注意し、表示通りに入れてください。

間違えると電池の破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を汚損することがあります。

### ■ショートさせない

禁止

ネックレスなどの金属物といっしょにしないでください。

電池の液漏れや、発熱、破裂の原因になります。

### ■長時間入れたままにしない

禁止

長時間 (1 週間程度 ) 使用しないときは電池を取り出しておいてください。

電池からの液漏れにより、火災、けが、周囲を汚損する原因となります。

## ■使用しているときに電池を抜かない

禁止

本体を使用しているときには電池を抜かないでください。
データが壊れたり、故障の原因になります。

## ■録音内容を消去するときは、電池残量の確認をする

注意

録音内容を消去するには、電池残量表示を確認してください。
消去の途中で電源が切れると、録音内容は消去できません。

- **録音中に電池残量表示の目盛りがなくなったら**

  すぐに録音をやめて、新しい電池に交換してください。

- **電池が液漏れしたとき**

  液が本体内部に残ることがありますので、当社のお客さまご相談窓口にご相談ください。液が目に入ったときは、失明の原因になりますので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分に洗い、ただちに医師に相談してください。液が身体や衣服についたときも、やけどなどの原因になりますので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症などの症状がでたときには、医師に相談してください。

- **電波障害自主規制について**

  この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビに近接して使用すると、受信障害を引き起こすことがあります。
  取扱説明書に従って、正しい取り扱いをしてください。

- **著作権について**

  放送や MD、CD、レコード、その他の録音物の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。
  あなたが録音したものは個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用することはできません。実演や興行の中には、個人として楽しむ目的であっても録音を制限している場合がありますので、ご注意ください。

# 必ずお読みください

## ■本機の使用中、万一何らかの不具合により、録音の失敗および録音内容 ( データ ) の損失を防ぐために

1. 録音前には必ず試し録音をしてください。
2. 録音データを他の機器にバックアップしてください。
3. 電池の残量が充分にある電池をお使いください。

本機の不具合によるデータ損失や機会損失などの補償につきましては、当社では責任を負いません。また、修理でのデータ消失を伴う事項が発生しても、補償については当社では責任を負いません。あらかじめご了承ください。

本機およびパソコンの不具合により、転送やダウンロードができなかった場合、またはファイルが破損、消失された場合、ファイル内容の補償はいたしません。

# 商標および登録商標についての注意

- Microsoft、Windows Media™ および Window® ロゴは米国およびその他の国における米国 Microsoft Corporation の商標または登録商標です。
- Windows Media™ Player は Microsoft Corporation の商標または登録商標です。
- SD ロゴおよび SDHC ロゴは商標です。
- その他、本書で登場するシステム名、製品名は一般に各開発メーカーの商標あるいは登録商標です。なお、本文中では ™、® マークは明記していません。

## ■時計表示について

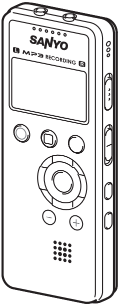
本機の時計表示は、長い期間使用していると誤差が生じる場合があります。定期的にカレンダ設定をされることをおすすめします。
また、タイマー予約録音をする前には、時報などで正確な時刻を設定してください。(☞ 20 ページ)

※ 本書は製品開発に先がけて印刷されており、その後性能改善や操作性向上のため製品仕様の一部が変更となることがあります。その場合は製品自体の仕様が優先されます。

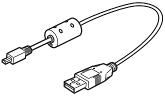
# はじめに

## 付属品を確認する

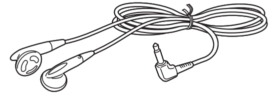
■IC レコーダー本体　1



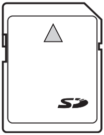

■専用 USB 接続ケーブル　1



■インナーイヤー型
ステレオイヤホン　1



■SD カード（1GB）　1



■単 4 形アルカリ乾電池　1

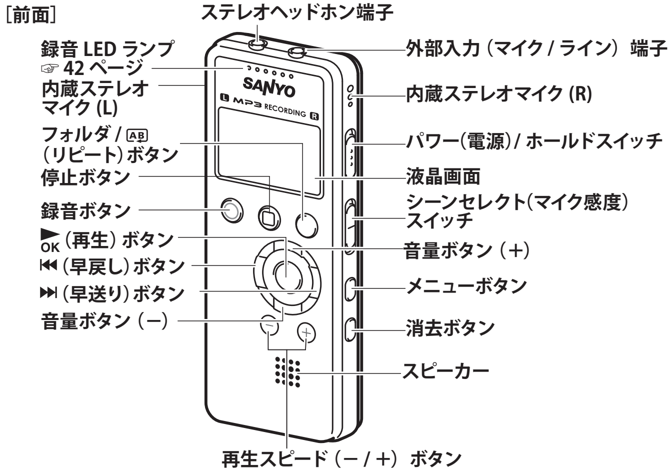
■本書（保証書付）　1

**メモ**
- 付属の電池は寿命が短いことがあります。
- リモコン付きなどの4極プラグ端子ステレオヘッドホンは使用できません。

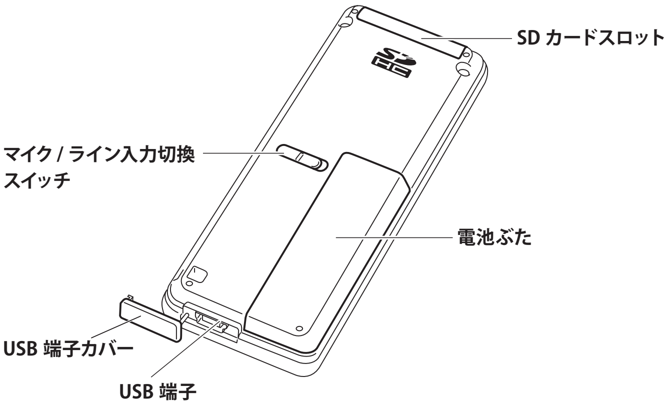
# 各部の名称

## 本体

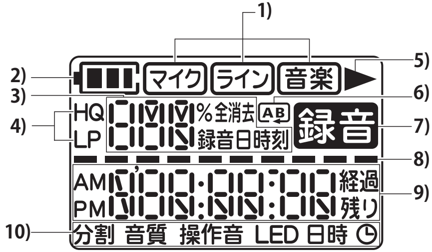
［前面］




［背面］



# 液晶画面の表示




**1) フォルダ名（音声の保存場所）**
（☞ **11 ページ**）

- マイク：マイクで録音したファイルの保存場所です。
- ライン：他の機器から録音したファイルの保存場所です。
- 音楽：パソコンから転送したファイルの保存場所です。

**2) 電池残量**

- ：残量少ない
- ：↕
- ：
- ：残量多い

**3) 各種情報表示**

録音した音声のファイル番号などが表示されます。

**4) 録音音質表示（☞ 38 ページ）**

- HQ：高音質モード（192kbps、ステレオ）
- HQ LP：標準音質モード（64kbps、ステレオ）
- LP：長時間モード（32kbps、モノラル）

**5) 再生中表示（▶）（☞ 26 ページ）**

**6) 繰り返し再生（リピート）表示**
（☞ **28 ページ**）

- ：再生中の曲を繰り返します。
- 全 ：フォルダ内のすべてのファイルを繰り返します。
- AB：1 つのファイル内の、設定した 2 点間を繰り返します。

**7) 録音中表示**（録音）（☞ **22 ページ**）

**8) 見えるメーター（レベルメーター）**

録音状態、SD カードの残量、再生の進捗状況、音量の設定時などに表示されます。

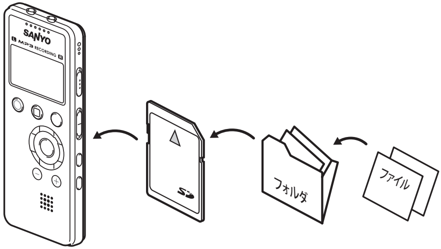
**9) 各種情報表示**

時間表示などが表示されます。

**10) メインメニュー設定項目**
（☞ **39 ページ**）

# ファイルとフォルダについて

１回の録音でできた音声データを「ファイル」、複数のファイルを分類して入れておくための保存場所を「フォルダ」と呼びます。



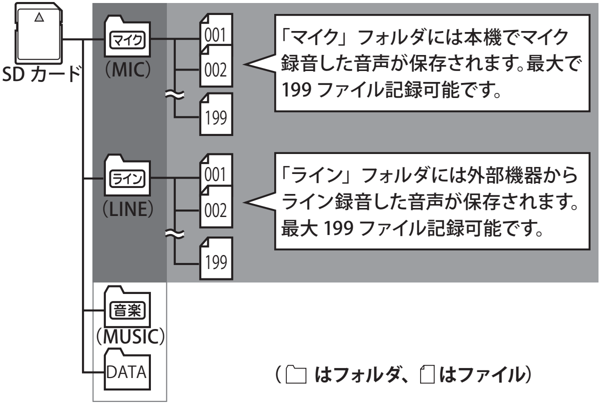

・ ファイル
　録音して停止すると、ファイルが作成されます。録音順に 1、2、3…と、ファイルに番号が付きます。

・ フォルダ
　本機には「マイク（MIC）」、「ライン（LINE）」、「音楽（MUSIC）」の 3 つのフォルダがあります。それぞれにファイルが保存できます。

**メモ** 本機では見えませんが、パソコンのデータを保存するための「データ（DATA）」フォルダもあります。（☞ 46ページ）

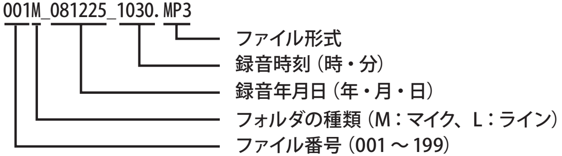
## 録音用フォルダについて

本機で録音する時に使うフォルダです。マイクで録音した音声が保存される「マイク」フォルダと、外部機器からライン録音した音声が保存される「ライン」フォルダがあります。




## 録音したファイルの名前について

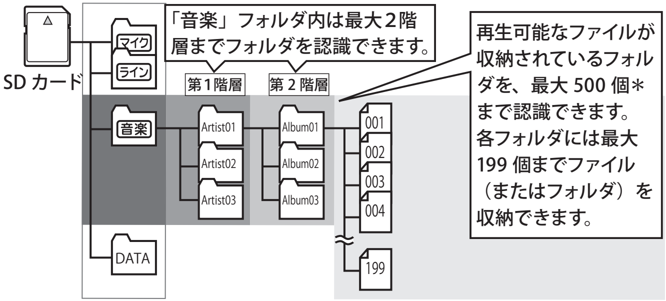
本機で録音したファイルは次の構成で自動的に名前がつきます




- 本機では上記ファイル名の内、ファイル番号のみ表示されます。ファイル名はパソコンに接続した場合に確認できます。
- 何度録音しても上書きはされず、各ファイルは消えません。
- 本機で録音したファイルの名前をパソコンで変更した場合、「マイク」フォルダや「ライン」フォルダでは再生できなくなります。上記のファイル名ルールに従った名前に変更するか、「音楽」フォルダに移動して再生してください。
- 最大ファイル数(199 ファイル)を超えて録音することはできません。制限を越えて録音しようとすると、「FULL」と表示されます。その場合は不要なファイルを削除してください。

## 音楽用フォルダについて

「音楽」フォルダは、パソコンから MP3 ファイルを転送して再生するフォルダです。お手持ちの音楽 CD などをパソコンに取り込み、「音楽」フォルダに転送することで、本機を音楽プレーヤーとして使用することができます。




（□ **はフォルダ、**□ **はファイル）**

＊ フォルダ直下にファイルが無いフォルダや、フォルダ内に再生可能なファイルが無いフォルダはカウントされません。

## 「音楽」フォルダのソート機能（並べ替え）について

「音楽」フォルダでは、各フォルダ内のファイルを先頭の数字によって、昇順（小さい順）に自動で並べ替えて再生します。先頭の数字が「001 ～」、「01 ～」、「1 ～」と混在している場合は、「001 ～」が最も優先され、次に「01 ～」、「1 ～」の順に並べ替えられます。

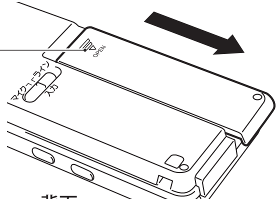
# 準備をする

## 電池を入れる

**ご注意**　電池を交換するときは、必ず電源を切ってください。電源が入ったまま電池を出し入れすると、故障やデータ破損のおそれがあります。

**1** 電池ぶたの図の部分を軽く押さえながら、矢印の方向にすべらせます。

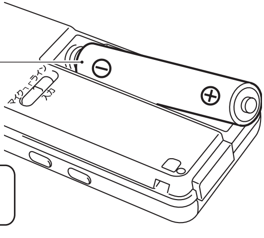
**このあたりを押さえてすべらせる**




**背面**

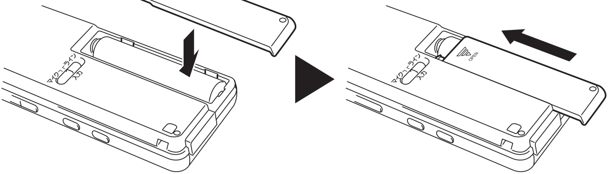
**2** 単 4 形アルカリ乾電池を入れます。

**先にマイナス側㊀を入れてからプラス側㊉を入れる**




**ご注意**　電池の向きに注意してください。

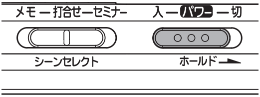
**3** 電池ぶたを閉じます。



# 電源を入れる／切る

## 電源を入れる

本機側面のパワー（電源）／ホールドスイッチを「入」側に動かします。




電源が入ると、次のように画面が切り換わります。




**バージョン表示**　**起動中**　**操作画面**

※ 画面は表示例です。

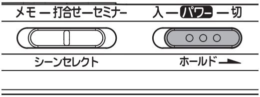
操作画面は、前回、電源を切る前に表示していた画面が表示されます。（レジューム機能）

**メモ**

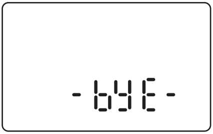
- SDカード内のファイル数が増えると、操作画面が表示されるまでの時間が長くなります。
- 「音楽」フォルダを選択したままで電源を入れると、ファイル数によっては起動中に「CREATE」と表示されることがあります。
- SDカードが本機に入っていない場合、本機の電源を入れたときに「NO-Sd」と表示され、操作できません。必ずSDカードを入れてください。

## 電源を切る

本機側面のパワー（電源）／ホールドスイッチを「切」側に動かします。

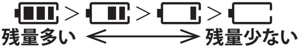



次の画面が表示され、電源が切れます。



## 電池の残量表示について

電池の残量が表示されます。




電池が切れると、「Lo bAT」と表示された後、自動で電源が切れます。

**メモ** 周囲の温度や使用状況によって電池残量の表示が変わることがあります。
表示はおよその目安とお考えください。

**ご注意**

・ 使用済みの電池は、各地方自治体の定める条例に従って廃棄してください。
・ **電池残量がほとんど無い場合でも電源を入れ直すと、実際の残量よりも多く表示されることがあります。この状態で録音や予約録音をすると、録音の途中で電池が切れて録音が中断されることがありますので、ご注意ください。**

## オートパワーオフ機能

電源を入れて停止状態のまま 30 分間放置すると、自動で電源が切れます。
電源を入れ直すには、パワー（電源）／ホールドスイッチを「切」にしてからもう一度「入」にします。

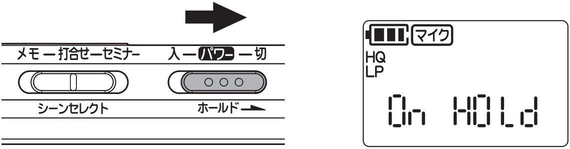
## レジューム機能

電源が切れる前に選択していたフォルダ、ファイル、再生位置状態を記憶し、次回電源を入れたときに前回電源を切ったときの状態で起動する機能です。
ただし、以下のような場合には、レジューム機能は働きません。
・パソコンに接続したとき
・電源オフ操作を行わずに、電池または SD カードを抜いたとき
・電源オン後に SD カードを挿入したとき

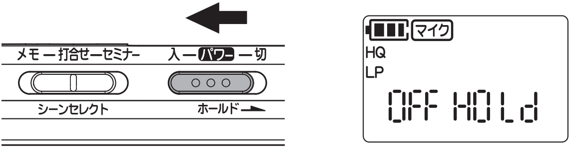
# 誤操作を防止する（ホールド機能）

ポケットに本機を入れて使うときなどに、意図せずボタンが押されてしまう誤操作や、誤操作による無駄な電池の消耗を防ぐことができます。

再生中や録音中にパワー（電源）／ホールドスイッチを下図の ➡ 方向（切側）にすると、次の画面が表示されてボタン操作ができなくなります。




パワー（電源）／ホールドスイッチを下図の ⬅ の方向（入側）にすると、次の画面が表示されて操作できるようになります。



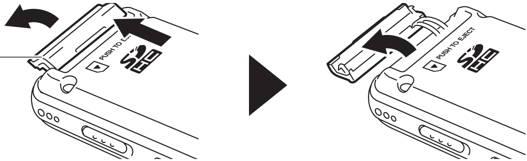

**メモ**
- シーンセレクト（マイク感度）スイッチおよびマイク／ライン入力切換スイッチは、ホールド機能がOnになっていても、ホールド機能は働きません。
- ホールド機能がOnの状態で、録音や再生が終了すると自動的に電源が切れます。

# SD カードを出し入れする

録音したファイルはすべて SD カードに記録されます。お使いになる前に、SD カードが正しく差し込まれていることを確認してください。

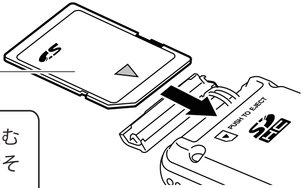
**1** **パワー（電源）／ホールドスイッチが「切」になっていることを確認します。（☞ 15 ページ）**

**2** **SD カードスロットのカバーを開きます。**
カバーを大きく開いてください。



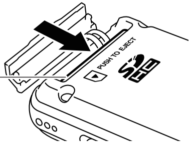

**ご注意**　カバーを強く引っぱり過ぎないでください。破損のおそれがあります。

**3** **〈SD カードを入れるとき〉**
**カードの向きに注意して SD カードスロットに差し込みます。**
**「カチッ」と音がするまで押し込みます。**

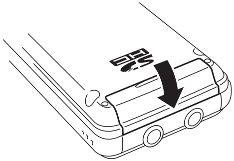



**ご注意**　間違った向きでSDカードを差し込むと、本機やSDカードが破損するおそれがあります。

**〈SD カードを取り出すとき〉**
**矢印の方向に SD カードを押し込みます。**
**SD カードが出てきたら、ゆっくり引き抜きます。**



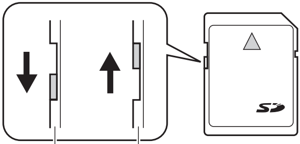
# 4 カバーを閉めます。



## SD カードの取り扱いに関するご注意



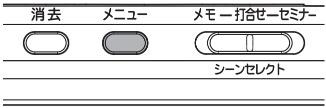
● 端子部分に直接触れたり、金属や堅い物を当てたり、ショートさせたりしないでください。静電気などによりデータが破損、消失するおそれがあります。
● SD カードは本機に正しい向きで奥までしっかり差し込んでください。誤った向きで差し込んだり、差し込みが不十分な場合、正常に動作しません。
● カードの着脱が完全に終わるまでカードから指を離さないでください。
カードを完全に着脱する前にカードから指を離すと、カードが勢いよく飛び出し、カードの紛失やカードが目に当たってけがをする場合があります。
● 本機で SD カードを使用するときは、事前に必ず本機でフォーマット（初期化）を行ってください。（☞ 32 ページ「消去する」の ALL ERASE）
他の IC レコーダーやパソコンでフォーマットした SD カードは、本機では使用できないことがあります。
● 本機で使用可能な SD カードは、容量が 512MB ～ 2GB の SD カードおよび、4GB、8GB の SDHC カードまでのものです（2008 年 11 月現在）。SD カードの製造メーカーや種類によっては本機で正しく動作しないものもあります。当社基準において動作確認済のカードについては、当社ユーザーサポートページをご確認ください。
http://www.sanyo-audio.com/support/icr/index.html
● SDカードがロックされているときは、ファイルの録音、消去、分割はできません。
● SD カードを本機に差し込む際に、ロックされてしまうことがありますのでご注意ください。
●ロックを解除するには、カード側面のつまみを図の「ロックを解除した状態」の位置に動かしてください。



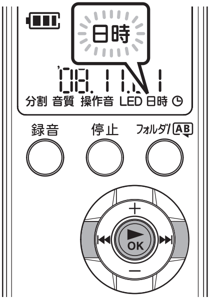
# 日時を設定する

日付と時刻を設定しておくと、録音時に「録音した日付と時刻」の情報がファイルに自動で記録されます（タイムスタンプ機能）。また、ファイル名に録音日時の情報が入りますので、正確に日時設定しておくことをおすすめします。

## 1 電源を入れ、[ メニュー ] ボタンを押します。




## 2 [⏮(早戻し) ] ボタンや [⏭(早送り) ] ボタンを押して「日時」を選択し、[ ▶OK（再生）] ボタンを押します。




## 3 [ ＋ ] ボタンや [ − ] ボタンを押して年（YY）を設定し、[ ⏭（早送り）] ボタンを押します。

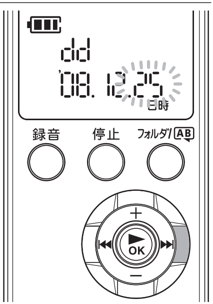
ここでは、2008 年 12 月 25 日 PM5 時 3 分に設定します。

**メモ** 西暦の下2桁に設定してください。（2008年なら「08」）



## 4 手順 3 と同じ操作で、月(MM) と日(dd) を設定します。

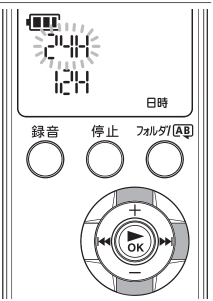
日を設定して [ ▶▶|（早送り）] ボタンを押すと、「24H」（24 時間表示）と「12H」（12 時間表示）が表示されます。




**メモ** 前の設定項目に戻るには、[|◀◀（早戻し）] を押します。

## 5 [ ＋ ] ボタンや [ − ] ボタンを押して時間の表示方法を選び、[ ▶▶|（早送り）] ボタンを押します。

点滅している方が、現在、選択している表示方法です。




## 6 手順 3 と同じ操作で、時（HH） と分（MM） を設定し、[ ▶OK（再生） ] ボタンを押します。




これで日時の設定は完了です。

**メモ**
- 長時間使用して時刻がずれたときは、設定し直してください。
- 電池を抜いて約5分経過すると、日時が出荷時の状態に戻ることがあります。その場合は設定し直してください。

準備

# 録音する

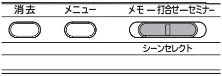
マイクで録音する方法と、外部機器から録音する方法があります。

**メモ** 録音中、ヘッドホンから録音している音声をモニタできます。[＋]や[−]ボタンで音量調節できます。

## マイク録音する

### 1 電源を入れます。（☞ 15 ページ）

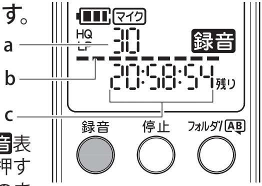
### 2 録音する状況に合わせてマイク感度を設定します。本機側面の [ シーンセレクト（マイク感度）] スイッチを切り換えます。




・メモ　：低感度。本機をマイクのようにして音源に近づけて録音するときに使用します。
・打合せ：中感度。数人でテーブルを囲んでの会話などを録音するときに使用します。
・セミナー：高感度。会議室や講堂など、広い場所で録音するときに使用します。

**メモ** 録音中でもマイクの感度は切り換えられます。

### 3 [ 録音 ] ボタンを押して録音を開始します。



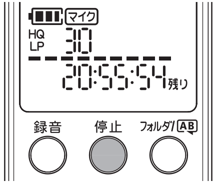

a ： 録音しているファイル番号
b ： 入力レベルメーター
c ： 録音残時間

**メモ**
・ 録音中に再度[ 録音 ]ボタンを押すと、録音表示が点滅し一時停止になります。もう一度押すと、録音が再開されます。また、一時停止のまま約30分放置すると、録音を終了し、本機の電源が切れます。
・ 録音中に ⏭（早送り）を押すごとに、bの表示が入力レベルメーター表示→録音残時間表示の順に切り換わります。
・ 録音中に ⏮（早戻し）を押すごとに、cの表示が録音残時間→録音経過時間の順に切り換わります。

## 4 録音を終了するときは [ 停止 ] ボタンを押します。

これで録音は完了です。

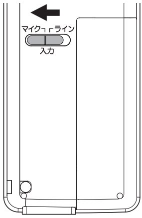
**メモ** ・ 音質を良くしたいときや長時間録音したいときなどは、音質を変更してください。(☞ 38ページ)




# 外部マイクを使用する

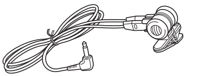
外部マイクを使用して録音するときは、事前に本機の外部入力端子に外部マイクを接続し、本機背面の［マイク／ライン入力切換］スイッチを「マイク」側に切り換えてください。




# 外部マイク（別売品）のご紹介

ステレオ 3WAY マイク
HM-250



携帯電話、ビジネスホンや家庭用固定電話の録音、バイノーラル録音、ポケット録音に対応した多機能3WAY マイク。

タイピン式ステレオマイク



胸ポケットに入れたまま録音でき、鞄に入れてマイク部だけ出して録音するときなどに効果を発揮します。

**メモ** ・ ステレオ外部マイクを使用される場合は下記仕様をおすすめします。（保証値ではありません）
-形式：エレクトレットコンデンサー/※プラグインパワー方式
-インピーダンス：2kΩ
-電源：1.3Vにて動作保証品
-プラグ：ミニプラグ（3.5Φ）
※プラグインパワー方式は、ICレコーダー本体から電源を供給する方式です。
・ 推奨仕様以外のステレオ外部マイクを使用された場合、録音感度が低いなど、うまく録音できないことがあります。

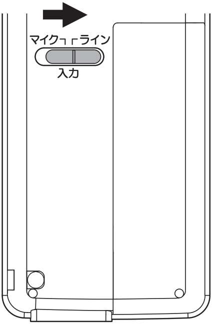
# 外部機器から録音する

CD・MD プレーヤーやラジカセ、コンポなどの外部機器で再生した音楽などを録音できます。

**メモ** 外部機器で再生している音声に2秒以上の無音部分がある場合に、自動的にファイルを分割して録音できます。(☞ 43ページ)

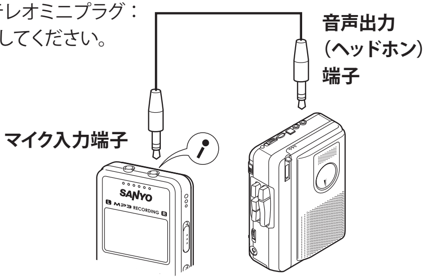
## 1 電源を入れます。(☞ 15 ページ)

## 2 本機背面の［マイク／ライン入力切換］スイッチを「ライン」側に切り換えます。




## 3 市販のオーディオケーブルを使って、本機の外部入力端子に外部機器の音声出力（ヘッドホン）端子を接続します。

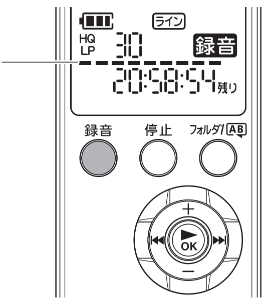
オーディオケーブル（ステレオミニプラグ：3.5 φ、抵抗なし）を使用してください。



## 4 必要に応じて本機の録音音質を変更します。（☞ 38 ページ）

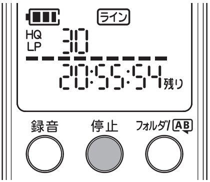
## 5 外部機器の再生を開始します。

## 6 本機の［録音］ボタンを押して録音を開始します。




**メモ**
- 試し録音を行って、外部機器の再生音量を調整してください。音量が大きすぎると、音割れの原因になります。
- 録音中に［ ⏭（早送り）］ボタンを押すと、入力レベルメーターの表示と録音残時間表示を切り換えることができます。
- 録音中に［ ⏮（早戻し）］ボタンを押すと、録音可能時間と録音経過時間の表示が切り換わります。

## 7 録音を終了するときは［停止］ボタンを押します。



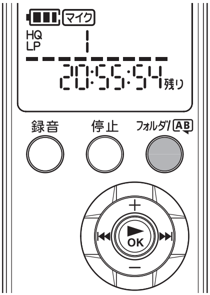

これで録音は完了です。

# 再生する

録音したファイルや、パソコンから転送したファイルを再生します。

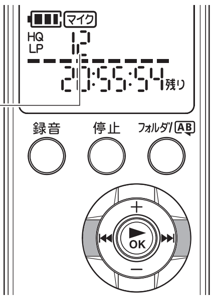
## ファイルを再生する

**1** **[ フォルダ/AB（リピート）] ボタンを押して、再生したいファイルの入っているフォルダを選びます。**



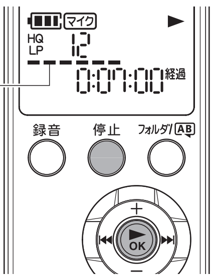

- マイク：マイクで録音したファイルの保存場所です。
- ライン：他の機器から録音したファイルの保存場所です。
- 音楽：パソコンから転送したファイルの保存場所です。

**2** **[ ⏮（早戻し）] ボタンや [ ⏭（早送り）] ボタンを押して、再生したいファイルの番号を選びます。**



ファイル番号

**3** **[ ▶OK（再生）] ボタンを押して再生を開始します。**
**再生を終了するときは［停止］ボタンを押します。**



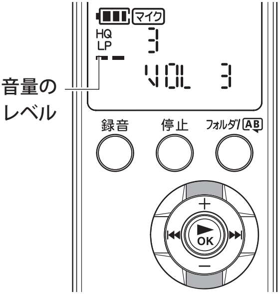
再生の進捗状況の表示

**メモ** 続けて同じファイルを再生すると、停止した位置から再生が再開されます。

# 再生中にできること

## 音量の調整

電源が入った状態で、[ ＋ ] ボタンや [ ー ] ボタンを押して調整します。
音量 (VOL) は、0 ～ 20 の範囲で設定できます。




**ご注意**　録音状況や音源によって最適な音量が異なります。音量は大きくしすぎないよう、少しずつ上げてください。

## 早送り

再生中に [ ▶▶| (早送り) ] ボタンを 1 秒以上押し続けると、早送りが始まります。早送り開始後は、指を離しても早送りは継続されます。
通常の再生速度に戻すには [ ▶OK（再生）] ボタンを押します。

## 早戻し

再生中に [ |◀◀ (早戻し) ] ボタンを 1 秒以上押し続けると、早戻しが始まります。早戻し開始後は、指を離しても早戻しは継続されます。
通常の再生速度に戻すには [ ▶OK（再生）] ボタンを押します。

## ファイル送り

[ ▶▶| (早送り) ] ボタンを押すと、次のファイルの先頭に飛びます。

## ファイル戻し

[ |◀◀ (早戻し) ] ボタンを押すと、再生中のファイルの先頭に戻ります。続けて [ |◀◀ (早戻し) ] ボタンを押すと、一つ前のファイルの先頭に飛びます。

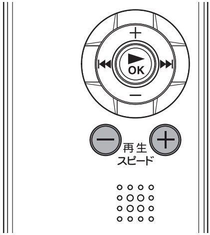
## 再生スピードの変更

再生中、[ 再生スピード ⊕ ] ボタンを押して数値を大きくすると速くなります。

再生中、[ ⊖ 再生スピード ] ボタンを押して数値を小さくすると遅くなります。

50 % 〜 100 % は 5 % ごと、100 % 〜 200 % は 10%ごとに調整できます。

**メモ** ファイルによっては、正常に再生できないことがあります。




## 5 秒前再生

再生中、[ ▶OK（再生）] ボタンを押すと、5 秒前から再生し直します。
短いフレーズや聞き取れなかったところをちょっと戻って聞き直したいときに便利です。

## リピート再生（繰り返し再生）

1 つのファイルを繰り返して再生したり、フォルダの中の全ファイルを繰り返して再生することができます。
停止中または再生中に［フォルダ/AB（リピート）］ボタンを **2 秒以上**押すごとにリピードモードが切り換わります。

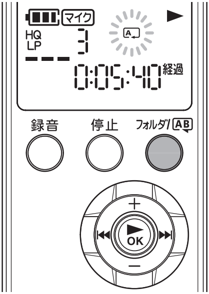



（1ファイルリピート）：選択している 1 つのファイルだけを繰り返し再生します。
（フォルダリピート）：選択しているフォルダ内の全ファイルを繰り返し再生します。フォルダをまたいでの設定はできません。
表示無し ：通常の再生です。最終ファイルの再生終了後は停止状態になります。

## 再生しているファイルの 2 点間の繰り返し（A-B リピート）

**1** **ファイルの再生中、繰り返しの開始位置で [ フォルダ/AB（リピート）] ボタンを 1 回押します。**

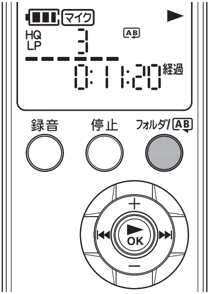
「A」が点滅します。




**2** **繰り返しの終了位置でもう一度 [ フォルダ/AB（リピート）] ボタンを 1 回押します。**

「AB」が表示されれば、正しく設定されています。

設定した 2 点間が繰り返し再生されます。




**メモ**

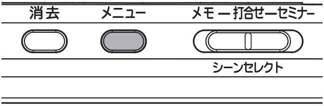
- 解除するときは、もう一度[フォルダ/AB（リピート）]ボタンを押して「AB」を消します。
- [停止]ボタンを押して再生を停止した場合や、早送り、早戻しした場合も、設定は解除されます。
- A点とB点の間隔が短すぎる場合、A-Bリピートの設定ができません。
- A点を設定後、B点を設定しなかった場合、そのファイルの末尾がB点になります。
- ファイルをまたがってのA-Bリピート設定はできません。

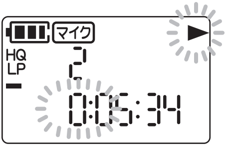
# 指定位置からの再生（時間指定サーチ）

再生の開始位置（開始時間）を指定できます。

## 1 ファイルの再生中、[ メニュー ] ボタンを押します。

再生が停止され、現在の再生位置（時間）が表示されます。




## 2 指定時間を設定します。

①[ ⏮（早戻し）][ ⏭（早送り）] を押して、「時」「分」「秒」を選択します。

②[ 音量+/−] ボタンを押して、数値を変更します。




## 3 [ ▶OK（再生）] ボタンを押します。

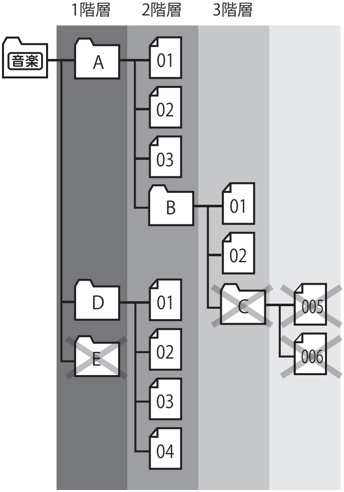
指定した場所から再生が始まります。

**メモ** この設定は再生中のファイルに対してのみ有効です。また、設定内容は保存されません。



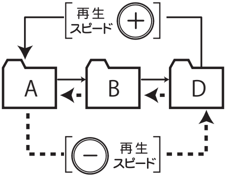
## フォルダスキップ（「音楽」フォルダ選択時のみ）

「音楽」フォルダを選択している場合、停止中に [再生スピード ＋] ボタンや [－ 再生スピード] ボタンを押すと、「音楽」フォルダ内のフォルダを順にスキップし、各フォルダ内の先頭のファイルが選択されます。




（□ はフォルダ、□ はファイル）

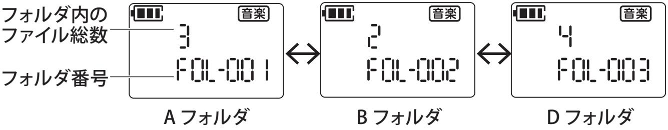
●左図のようなフォルダ構成の場合、[再生スピード ＋] または [－ 再生スピード] ボタンを押すと、次の順にスキップします。




**メモ**

・ファイルの入っていないフォルダ（図のフォルダE）や、「音楽」フォルダ内で3階層以上のフォルダ（図のフォルダC）はフォルダスキップの対象外となります。

上図の例ではフォルダスキップするごとに、画面表示は以下のように切り換わります。




**メモ**
・再生可能なファイルが収納されているフォルダを最大500個まで認識できます。
・「音楽」フォルダの直下（1階層）にファイルを転送した場合、"FOL-001"から再生できます。

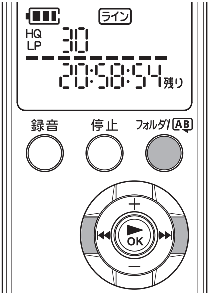
# 消去する

不要なファイルを消します。
消去方法は 3 種類あります。

- FILE ：ファイルを 1 つだけ選んで消去します。
- FOLdER ：選択したフォルダ内の全ファイルを消去します。
- ALL ERASE：SD カード内のすべてのデータを消去します。（フォーマット）

**ご注意**
- **消去したファイルは元に戻せません。消去する前に不要なファイルかどうか必ず確認してください。**
- この操作を行う前に、電池の残量が充分にあることを確認してください。
- ファイル消去では、本機で再生可能なファイルのみ消去できます。ただし、ファイル属性が"読み取り専用"のファイルを消去しようとすると、"ERROR"が表示され、削除できません。その場合は本機をパソコンに接続して、パソコン上で削除してください。
- フォルダ消去では、本機で再生可能なファイルが入ったフォルダのみ消去できます。
- " Sd LOCk "と表示された場合は、SDカードのロックを解除してください。（☞ 19ページ）

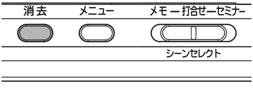
**1** **[フォルダ/AB （リピート）] ボタンを押して消去したいフォルダ、または消去したいファイルの入っているフォルダを選択します。**




**2** **[◀◀ （早戻し）] ボタンや[ ▶▶ （早送り）] ボタンを押して消去したいファイルを選択します。**

消去方法を「FOLdER 」や「ALL ERASE」にする場合は、この操作は必要ありません。

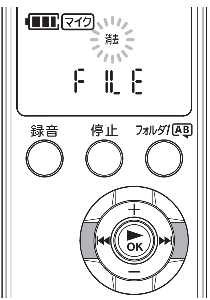
**3** **[ 消去 ] ボタンを押します。**




**メモ** 以降の操作を途中で止めるときは、もう一度 [ 消去 ]ボタンを押します。

## 4 [⏮（早戻し）] ボタンや [⏭（早送り）] ボタンを押して消去方法を選び、[▶OK（再生）] ボタンを押します。

「FILE」、「FOLdER」、「ALL ERASE」の 3 種類から選びます。ここでは、1 件消去を選びます。







FOLDER
(フォルダ消去)




ALL ERASE
（フォーマット）

**ご注意**　ファイルを1つだけ消去したい時に誤って「FOLdER」や「ALL ERASE」を選択しないよう、よく確認してください。

## 5 [⏮（早戻し）] ボタンや [⏭（早送り）] ボタンを押して「YES」を選び、[▶OK（再生）] ボタンを押します。




**メモ**　「NO」を選ぶと、手順4に戻ります。

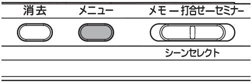
「ERASE」と表示された後で「Ok」と表示されたら、消去は完了です。

**ご注意**　フォルダ消去は、フォルダの中のファイルを消去しますが、フォルダは削除できません。また、本機では音楽フォルダ内にある空のフォルダは見えませんので、パソコン接続時に不要なフォルダは削除してください。

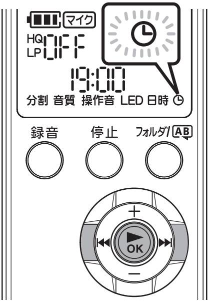
# 決まった時間に録音する（タイマー）

指定した時刻に自動的に録音することができます。

**1** 停止中、[ メニュー ] ボタンを押します。




**2** [ ⏮（早戻し） ] ボタンや [ ⏭（早送り） ] ボタンを押して「 ◷ 」を選択し、[ ▶OK（再生） ] ボタンを押します。




**3** [ ＋ ] ボタンや [ − ] ボタンを押して録音時間を選択し、[ ⏭（早送り） ] ボタンを押します。

- 30M ：30 分
- 1H ：1 時間
- 2H ：2 時間
- ALL ：空き容量一杯まで
- OFF ：タイマー設定を無効にします

**メモ** 「OFF」を選択すると、タイマー設定は無効になります。



## 4 [＋] ボタンや [－] ボタンを押して録音を開始する時間の「時」を指定し、[ ▶▶| （早送り）] ボタンを押します。




## 5 [＋] ボタンや [－] ボタンを押して録音を開始する「分」を指定し、[ ▶OK （再生） ] ボタンを押します。




画面右下に「 ⏲ 」が表示されたら、設定は完了です。
指定時刻の 1 分前に自動で電源が入り、タイマー録音の待機状態になります。このとき、「録音」と「⏲」が点滅し、レベルメーターが 6 秒ごとに 1 目盛ずつ消えていきます。
録音が始まって設定した時間が経過すると、録音を自動的に停止します。

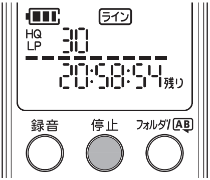
**メモ**
- 再生中に指定時刻が近付いたときは、指定時刻の1分前に自動で再生を停止し、タイマー録音の待機状態になります。
- タイマー録音を途中で止めるときは、[停止]ボタンを押します。
- タイマー録音中に[録音]ボタンを押して録音を一時停止し、その後、録音を再開した場合は、一時停止していた分だけ録音時間が延長されます。
- 電源をオフにしている場合も、タイマー開始時刻になると電源が入り動作します。タイマー終了時刻になると電源が切れます。

# 録音したファイルを分割する

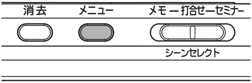
ファイルを途中で区切って分割できます。ファイルを必要な部分と不要な部分に分けたいときなどに便利です。ファイル分割するには、空き容量が必要です。
ファイル分割は、マイクフォルダまたはラインフォルダのファイルのみ分割できます。（音楽フォルダのファイルは分割できません）

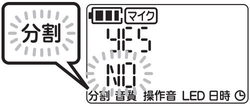
**1** 分割したいファイルを再生します。（☞ 26 ページ）

**2** 分割したいところで [ 停止 ] ボタンを押して、再生を停止します。




**3** [ メニュー ] ボタンを押します。
「**分割**」が点滅します。



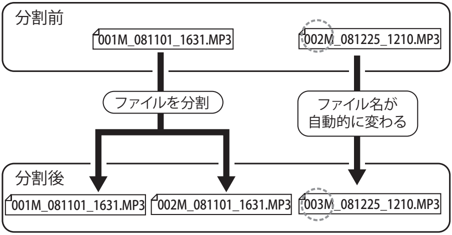

**4** [ ＋ ] ボタンや [ ー ] ボタンを押して「YES」を選択し、[ ▶OK（再生） ] ボタンを押します。




「OK」と表示されたら、ファイルは分割されました。

# ファイル分割のしくみと分割後のファイル名の付き方

例：001M_081101_1631.MP3 ファイルを分割する。




001M_081101_1631.MP3 のファイルを分割すると、002M_081101_1631.MP3 のファイルが作成されます。ただし、フォルダ内に同じファイル番号のファイルが存在する場合は、分割後のファイルが優先され、もともとあったファイルのファイル番号が変更になります。
例えば、ファイル名 001M_081101_1631.MP3 を分割すると 001M_081101_1631.MP3 と 002M_081101_1631.MP3 が作成され、フォルダ内に先に存在していた 002M_081225.1210.MP3 は 003M_081225.1210.MP3 にファイル番号が変更されます。

- 分割した部分が前後のファイルで重複します。
  重複する時間と分割に必要なファイルの録音時間は下表の通りです。

| 録音モード | | 重複する時間 | ファイル録音時間 |
|---|---|---|---|
| MP3 | LP(32kbps) | 約 8 秒 | 約 16 秒以上 |
| | HQLP(64kbps) | 約 4 秒 | 約 8 秒以上 |
| | HQ(192kbps) | 約 1 秒 | 約 2 秒以上 |

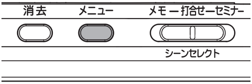
**ご注意**
- ファイル分割した際、指定した場所から前後にずれが生じる場合があります。
- 次の場合はファイルを分割できません。
  - SD カードの空き容量不足
  - ファイル数が最大
  - ファイルの先頭で分割しようとしたとき
  - 保存場所が「音楽」内のファイル
  - SD カードがロックされている

# メニューについて

## 操作のしかた（音質設定の例）

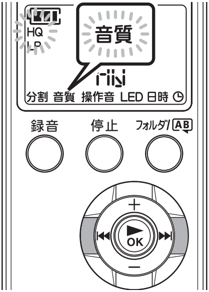
メニュー画面で本機の設定を変更したり、本機の機能を使うことができます。

**1** **本機の電源を入れ、停止中に [ メニュー ] ボタンを押します。**



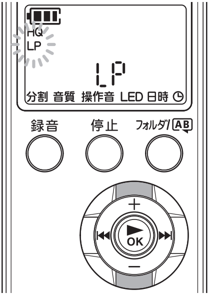

**2** **[ ⏮（早戻し）] ボタンや [ ⏭（早送り）] ボタンを押して、設定したいメニュー項目を選択します。**

選択中の項目が点滅します。




**3** **[ ＋ ] ボタンや [ − ] ボタンを押して、設定項目を選択します。**

点滅している方が、現在、選択されている設定です。




**4** **[ ▶OK（再生）] ボタンを押します。**

これで設定は完了です。

# メニュー一覧

## メインメニュー

停止中に［**メニュー**］ボタンを押します。

※設定内容の**太字**はお買い上げ時（工場出荷時）の設定です。

| 【メニュー項目】 | 【設定内容】 | 【参照ページ】 |
|---|---|---|
| **分割** | YES ：選択中のファイルを分割する | 36 ページ |
| | **NO ：ファイル分割を取りやめる** | |
| **音質** | HQ ：高音質モード（192kbps、ステレオ） | 38 ページ |
| | **HQ LP ：標準音質モード（64kbps、ステレオ）** | |
| | LP ：長時間モード（32kbps、モノラル） | |
| **操作音** | OFF ：音無し | 41 ページ |
| | **On ：音有り** | |
| **LED** | OFF ：点灯しない | 42 ページ |
| | **On ：点灯する** | |
| **日時** | 日付と時刻を設定する | 20 ページ |
| **🕒** | タイマー録音を設定する | 34 ページ |

**メモ**
- 選択しているフォルダによって、設定できるメニュー項目は異なります。
- 「分割」はマイクフォルダまたはラインフォルダでのみ操作可能です。

# サブメニュー

停止中に［**メニュー**］ボタンを 2 秒以上押します。

※設定内容の**太字**はお買い上げ時（工場出荷時）の設定です。

| 【メニュー項目】 | 【設定内容】 | 【参照ページ】 |
|---|---|---|
| 自動無音分割（AUTO） | OFF **：しない** | 43 ページ |
| | On ：する | |
| イコライザー（EQ） | OFF **：イコライザーを使いません** | 44 ページ |
| | bASS ：低音域を強調します | |
| | POP ：低音域と高音域をやや強調します | |
| | ROCk ：低音域と高音域をより強調します | |
| | JAZZ ：中音域を強調します | |

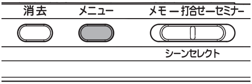
**メモ** イコライザーは、再生中も設定できます。

# その他の機能

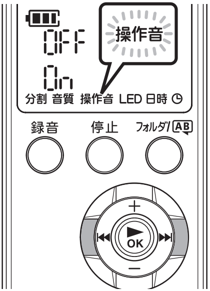
## 操作音について

本機での操作時に音を鳴らす／鳴らさないの設定が可能です。

**1** [ メニュー ] ボタンを押します。




**2** [⏮（早戻し）] ボタンや [⏭（早送り）] ボタンを押して「操作音」を選択します。




**3** [＋] ボタンや [－] ボタンを押して「On」または「OFF」を選択し、[▶OK（再生）] ボタンを押します。

On　：本機を操作時に音が鳴ります
OFF　：本機を操作時に音を鳴らしません

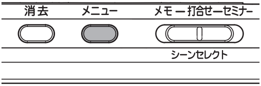



これで設定は完了です。

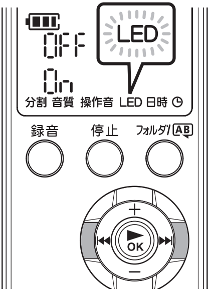
# 録音 LED ランプの点灯について

録音中に、録音 LED ランプを点灯させる / させないの設定が可能です。

**1** **本機の電源を入れ、停止中に [ メニュー ] ボタンを押します。**

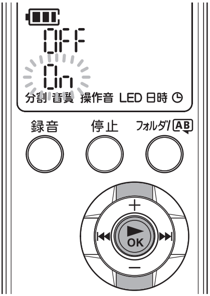



**2** **[ ⏮（早戻し）] ボタンや [ ⏭（早送り）] ボタンを押して「LED」を選択します。**




**3** **[＋ ] ボタンや [－ ] ボタンを押して「On」または「OFF」を選択し、[▶OK（再生）] ボタンを押します。**

On　：録音中に録音 LED が点灯します
OFF　：録音中に録音 LED が点灯しません

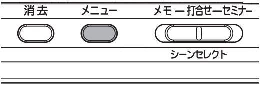



これで設定は完了です。

## 無音時にファイルを自動で分割する（ライン入力時のみ）

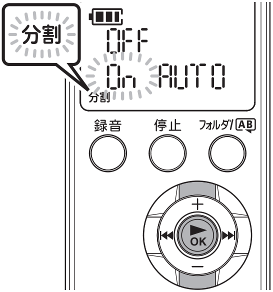
外部機器をつないで録音しているときに、外部機器で再生している音声に音の無い部分が 2 秒以上あると、自動的に録音が停止されます。音が鳴り始めると、別のファイルとして録音が再開されます。

**1** **本機の電源を入れ、停止中に [ メニュー ] ボタンを 2 秒以上、押します。**




**2** **「AUTO」と表示されたら、[ ＋ ] ボタンや [ – ] ボタンを押して「On」を選択し、[▶OK（再生）] ボタンを押します。**

画面左下に「**分割**」と表示されます。




**メモ** 「音楽」フォルダを選択しているときは、「EQ」と表示されます。その場合は [◀◀（早戻し）や ][▶▶（早送り）] ボタンを押してから上記の操作を行ってください。

これで設定は完了です。

**3** **外部機器から録音します。（☞ 24 ページ）**

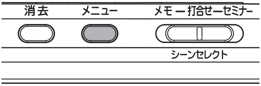
無音による一時停止中は、「**分割**」が点滅します。

**メモ**
- 無音部分が15秒以上続くと、自動で録音を終了します。
- 設定は電源を切っても保持されます。

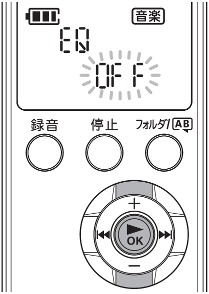
# イコライザーを指定する

音楽のジャンルに合わせて、高音／中音／低音のそれぞれの音量を最適に調整します。

**1** **本機の電源を入れ、停止中に［メニュー］ボタンを 2 秒以上、押します。**




**2** **「EQ」と表示されたら、［＋］ボタンや［－］ボタンを押して音楽のジャンルを選択し、［▶OK（再生）］ボタンを押します。**




OFF ：イコライザを使いません。
bASS ：低音域を強調します。
POP ：低音域と高音域をやや強調します。
ROCK ：低音域と高音域をより強調します。
JAZZ ：中音域を強調します。

**メモ** 「マイク」フォルダや「ライン」フォルダを選択しているときは、「AUTO」と表示されます。その場合は［⏮（早戻し）］や［⏭（早送り）］ボタンを押してから上記の操作を行ってください。

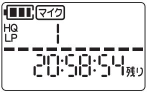
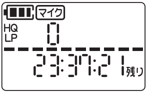
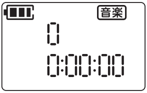
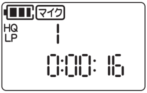
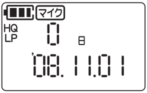
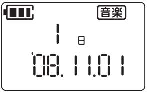
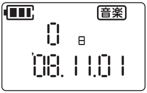
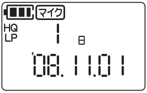
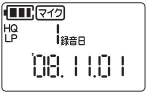
これで設定は完了です。

**3** **ファイルを再生します。**（☞ 26 ページ）

**メモ** 電源を切っても、設定は保持されます。

# ファイルの情報を確認する

停止中に [ 停止 ] ボタンを押すと、ファイルの情報が確認できます。選択しているフォルダによって表示される情報が異なります。

| 表示順 | マイク／ライン | | 音楽 | |
|---|---|---|---|---|
| | 再生対象ファイル有り | 再生対象ファイル無し | 再生対象ファイル有り | 再生対象ファイル無し |
| 1 | 録音可能残り時間   | 録音可能残り時間   | ファイルの長さ   | ファイルの長さ   |
| 2 | ファイルの長さ   | 現在時刻   | 現在時刻   | 現在時刻   |
| 3 | 現在時刻   | 日付   | 日付   | 日付   |
| 4 | 日付   | — | — | — |
| 5 | 録音時刻   | — | — | — |
| 6 | 録音日   | — | — | — |

設定

# パソコンにつなぐ

## パソコンを使ってできること

本機をパソコンに接続することで、本機とパソコンの間でファイルをやりとりできます。

- 本機のファイルをパソコンにコピーする
  本機で録音したファイルをパソコンにコピーして、パソコンで再生できます。
  （☞ 56 ページ）
- 音声を CD-R/RW にコピーする
  パソコンに CD-R/RW ドライブが搭載されているときは、本機で録音したファイルを CD-R/RW ディスク（データの記録が可能な CD）にコピーできます。（☞ 57 ページ）

**他にもこんなことができます。**

- 音楽プレーヤーとして使用する
  パソコンを使って CD などから作成した MP3 ファイルを本機に転送すれば、本機で音楽を聞くことができます。
- パソコンのデータを本機にコピーする
  他のパソコンへ移動するための中継点として、パソコンのデータの保管場所として本機を使用できます。

**メモ** 上記操作について、詳しくは弊社ホームページをご覧ください。
http://www.sanyo-audio.com/support/icr/guide.html

**メモ パソコン用語の意味**

- **ファイル**
  データのまとまりのことです。本製品では、音声データのまとまりを指します。1つの録音データが 1 つのファイルになります。
- **フォルダ**
  複数のファイルを分類して入れておくための保存場所のことです。本機には「マイク」、「ライン」、「音楽」の3つの保存場所（フォルダ）があり、これらはパソコン上では、それぞれ「MIC」、「LINE」、「MUSIC」という名前で表示されます。
  また、この3つのフォルダ以外に、パソコンのデータを入れるための「DATA」というフォルダもあります。
- **コピー**
  ファイルやフォルダの複製を作り、別の場所に保存することです。
- **クリック、ダブルクリック、右クリック**
  パソコンの画面上に表示されるアイコンやボタンにマウスのカーソルを合わせ、マウスの左ボタンを1回「カチッ」と押すことを"クリック"といいます。クリックを素早く2回「カチカチッ」と続けることを"ダブルクリック"といいます。マウスの右ボタンでクリックすることを"右クリック"といいます。
- **CD-R/RW**
  データの書き込みが可能なCDです。
- **ドラッグ&ドロップ**
  ファイルやフォルダを移動させる操作です。移動させたいファイルやフォルダにマウスカーソル（矢印）を合わせて左ボタンを押しっぱなし（ドラッグ）にし、マウスを動かして移動させます。目的の場所でマウスのボタンから指を離す（ドロップ）と、そこにファイルやフォルダが置かれます。

# 動作環境

次の条件を満たしたパソコンに本機を接続できます。

| | |
|---|---|
| 対応機種 | Windows 標準搭載パソコン |
| 対応 OS（日本語版） | Windows Vista、Windows XP、Windows 2000 Professional（SP3 以降） |
| USB 端子 | 1 つ以上必要 |
| その他 | スピーカーまたはヘッドホンが必要<br>パソコンにサウンド再生機能が搭載されていること |

※ 上記は 2008 年 11 月現在での動作環境です。

お使いの OS に対応した以下のいずれかの Windows Media Player をお使いください。

| | |
|---|---|
| Windows Media Player11 | Windows Vista ／ Windows XP |
| Windows Media Player10 | Windows XP |
| Windows Media Player9 | Windows 2000 Professional（SP3 以降） |

※ 上記以外の Windows Media Player での動作は保証いたしません。
※ Windows Media Player のバージョンは、☞ 50 ページを参照して確認してください。
※ 最新の Windows Media Player は以下の URL から入手してください。
http://www.microsoft.com/japan/windows/windowsmedia/download/default.aspx

## 接続するパソコンに関するご注意

- Macintosh や自作パソコンでの動作は保証いたしません。
- Windows 搭載パソコンであっても、以下の環境での動作は保証いたしません。
  - OS をアップグレードした環境
  - Windows 95、Windows NT、Windows 98、Windows 98SE、Windows Me
  - Windows のデュアルブート環境
- 「接続できるパソコン」に記載されたすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
- お使いの環境によっては、スタンバイやサスペンド（※）などのモードが正常に動作しない場合があります。その場合は、本機接続時にはそれらのモードを使用しないでください。

  ※ 操作が行われない場合に CPU やディスプレイ、ハードディスクを停止して消費電力を抑えている状態。スリープとは異なり、CPU は停止しているが ROM には電力供給されている状態。
- Windows Vista/XP/2000 をお使いの場合は、管理者権限のユーザ（Administrator）で使用してください。
- Windows 2000 以降の「ダイナミックディスク」は動作保証しておりません。

## 本書の表記について

お使いのパソコンメーカーや OS のバージョンにより、お客さまのパソコン表示画面と本書掲載画面とが一致しない場合があります。本書の説明で使用する画面は、Windows XP/Windows Media Player 11 となります。

その他のバージョンの OS/Windows Media Player をお使いの場合は、当社サポート HP をご覧ください。

http://www.sanyo-audio.com/support/icr/guide.html

（☞ 50 ページ「Windows Media Player のバージョンの確認方法」）

## Windows Media Player のバージョンの確認方法

**1** **パソコン画面で、[スタート] ー [すべてのプログラム] ー [Windows Media Player] の順にクリックします。**

Windows Media Player が起動します。

---

**2** **Windows Media Player の画面で、[ヘルプ] ー [バージョン情報] の順にクリックします。**

「バージョン情報」画面が表示されます。

1）クリック



2）クリック

**メモ** [ヘルプ] が表示されていないときは、キーボードの「Ctrl」キーと「M」キーを同時に押した後、手順2を行ってください。

---

**3** **「バージョン：」の右に表示されている数字の左端の桁がバージョンです。バージョンを確認します。**

- バージョン 9　：9.XX.XX
- バージョン 10 ：10.XX.XX
- バージョン 11 ：11.XX.XX



# パソコンとのつなぎかた／取り外しかた

## 接続時のご注意

・ 本機で録音したファイルをパソコンにコピーしてファイル名を変更すると、本機の元のフォルダ（保存場所）に戻しても、再生できなくなります。次の「ファイル名ルール」に従った名前に変更するか、「音楽」（MUSIC）フォルダに移動して再生してください。

ファイル名ルール

- 「マイク」フォルダ（MIC）　：　3桁の数字(001～199)＋M＋_＋日付＋_＋時間（時分）＋.＋拡張子
（例：001M_081101_0935.mp3）
- 「ライン」フォルダ（LINE）　：　3桁の数字＋L＋_＋日付＋_＋時間(時分)＋.＋拡張子
（例：001L_081101_0935.mp3）

※ 先頭の 3 桁の数字は、フォルダ内のファイルと連番になるように自動で変更されます。

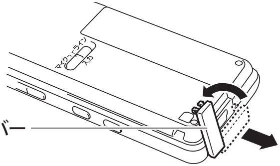
・ SD カードのフォーマット（初期化）は本機で行ってください。パソコンでフォーマットすると、正しく録音できなくなることがあります。
本機でフォーマットするには、☞ 32 ページ「消去する」を参照して「ALL ERASE」を実行してください。

・ バスパワー型 USB ハブ、または付属品以外の USB 接続ケーブルの使用は、動作保証いたしません。必ず付属の専用 USB 接続ケーブルを使用して接続してください。

**メモ** 本機の電池が無くても、パソコンとのデータのやり取りは行えます。

## 本機をパソコンに接続する

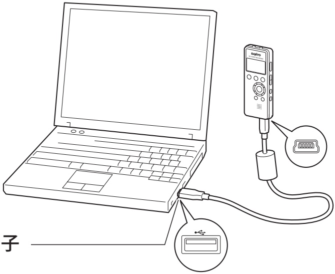
**1** 本機の USB 端子カバーを開きます。



USB 端子カバー

**2** 付属の専用 USB 接続ケーブルでパソコンと本機をつなぎます。

パソコンに接続すると、本機の画面に「PC」と表示されます。



パソコンの USB 端子

**メモ** **端子は差し込める向きが決まっています。注意して差し込んでください。**

**〈初めて本機をパソコンに接続したとき〉**

パソコンの画面に次のようなメッセージが数回、表示されます。メッセージが表示されなくなるまで本機を取り外さないでください。




**メモ** パソコンの画面に何も表示されないときは、☞ 60ページ「本機がパソコンに認識されない場合」を参照してください。

**〈「今すぐ再起動しますか？」というメッセージが表示されたとき〉**

［はい］をクリックします。

**3** 次の画面が表示されたら、［フォルダを開いてファイルを表示する］をクリックして選択し、［OK］ボタンをクリックします。

本機のフォルダが表示されます。




## 本機のフォルダを表示する

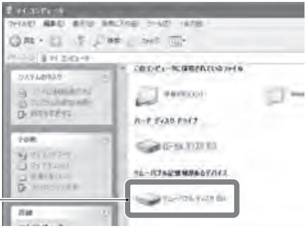
**1** 本機をパソコンに接続します。（☞ 52 ページ「本機をパソコンに接続する」）

**2** ［スタート］－［マイ コンピュータ］の順にクリックします。
または、デスクトップの［マイ コンピュータ］アイコンをダブルクリックします。



## 3 ［リムーバブルディスク］アイコンをダブルクリックします。

本機のフォルダが表示されます。



ダブルクリック

**メモ** ［リムーバブルディスク］アイコンが表示されないときは、☞ 60ページ「本機がパソコンに認識されない場合」を参照してください。

## 本機のフォルダ名

フォルダ名は、本機での表示とパソコンでの表示が異なります。

| | 表示されるフォルダ名 | | | |
|---|---|---|---|---|
| 本機での表示 | マイク | ライン | 音楽 | －（※） |
| パソコン上での表示 | MIC | LINE | MUSIC | DATA |

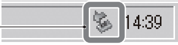
※ 「DATA」フォルダにはパソコンのデータを入れられますが、このフォルダは本機では見られません。他のパソコンにデータを移動したい場合などに、このフォルダにデータを入れます。

## 本機をパソコンから取り外す

**ご注意** 必ず次の手順に従って取り外してください。通信中にケーブルや本機を取り外すと、ファイルが破損するおそれがあります。

### 1 パソコンの画面のタスクトレイ（通常は右下）に表示されている  をクリックします。

クリック




**メモ** タスクトレイに  アイコンが表示されていない場合は、 アイコンをクリックしてください。隠れているアイコンが表示されます。それでも  アイコンが表示されない場合は、パソコンの電源を切り、本機を取り外してください。

クリック




### 2 「USB大容量記憶装置デバイス – ドライブを安全に取り外します」というメッセージが表示されたら、これをクリックします。

クリック



### 3 次のようなメッセージが表示されたら、パソコンと本機から専用USB 接続ケーブルを取り外します。

Windows XP



# 本機のファイルをパソコンにコピーする

**1** 本機をパソコンに接続して、リムーバルディスクを開きます。
（☞ 52、53 ページ）

**2** コピーしたいファイルの入っているフォルダをダブルクリックします。

ここでは［MIC］フォルダのファイルをコピーする場合を例に説明します。



ダブルクリック

**3** コピーしたいファイルを右クリックし、表示されたメニューの［コピー］をクリックします。



1）右クリック

2）クリック

**4** ファイルを保存したいフォルダを開きます。

ここでは、パソコンの［マイ ドキュメント］フォルダにファイルを保存する場合を例に説明します。

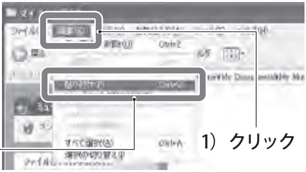


2）クリック

1）クリック

**5** フォルダのウィンドウで、［編集］－［貼り付け］の順にクリックします。

ファイルがコピーされます。フォルダに同じ名前のファイルができたらコピーは完了です。



2）クリック

1）クリック

> **ご注意**　ファイルのコピー中は、絶対に本機やパソコンから専用USB接続ケーブルを抜かないでください。

**6** 本機をパソコンから取り外します。（☞ 55 ページ）

# ファイルを CD-R/RW にコピーする

本機からパソコンにコピーしたファイルを、Windows Media Player を使って CD-R/RW にコピーします。録音したファイルを長期間保存したい場合などに使用します。

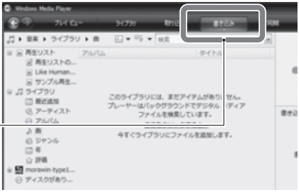
**メモ** CD-R/RWへのコピー中はパソコンで他の操作をしないでください。ノイズ混入の原因となります。

**1** **本機のファイルをパソコンにコピーします。**（☞ 56 ページ）

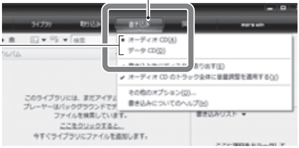
**2** **［スタート］－［すべてのプログラム］－［Windows Media Player］の順にクリックします。**

Windows Media Player が起動します。

**3** **［書き込み］をクリックします。**




**4** **［書き込み］を右クリックして、作成する CD の種類をクリックします。**




- オーディオ CD ：CD-R/RW 対応のコンポやカーオーディオなどで再生できる CD-R を作成できます。
- データ CD ：MP3 形式のまま CD-R/RW にコピーします。パソコンでは再生可能ですが、一般のオーディオ機器では再生できません。

**メモ** オーディオCDを作成する場合、CD-R/RWの容量によって録音できるファイルの合計時間が異なります。容量と録音可能時間の目安は次のとおりです。

- 650MBの場合 ：74分
- 700MBの場合 ：80分

ファイルの長さが上記の時間を超える場合は、ファイルを分割してください。（☞ 36ページ）

## 5 CD-RW、もしくは未使用のCD-Rをパソコンの CD-R/RW ドライブに入れます。



パソコンに入れた CD の情報

## 6 コピーしたいファイルの入っているフォルダを開きます。

ここでは、パソコンの［マイドキュメント］フォルダにファイルが入っている場合を例に説明します。

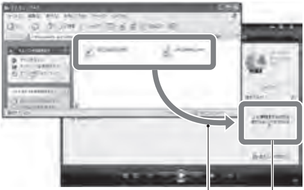


2）クリック

1）クリック

## 7 コピーしたいファイルを Windows Media Player の［書き込みリスト］にドラッグ & ドロップします。

ファイルが［書き込みリスト］に追加されます。



ファイルをドラッグ & ドロップ

書き込みリスト

**ご注意** ［書き込みリスト］に追加されていても再生時間が表示されていないファイルは、エラーが出て書き込めません。その場合はファイルをダブルクリックして再生すると、時間が表示されて書き込めるようになります。



## 8 ［書き込みの開始］ボタンをクリックします。



クリック

「完了」と表示されたら、CD-R/RW へのコピーは完了です。
Windows Media Player の設定によっては、自動的に CD-R/RW ドライブのトレイが開きます。



完了の表示

**メモ**
・Windows Media Player11の場合、書き込みリストに追加したファイルの合計時間が記録可能時間を超えると、自動で複数のCDに分けて書き込みます。
・Windows Media Player11は、書き込み時に自動でファイルの間に２秒の間隔を空けます。そのため、ファイルの合計時間が記録可能時間内であってもCDが分割される場合があります。

# 困ったときは

## 本機がパソコンに認識されない場合

次の確認作業を行ってください。

・付属の専用 USB 接続ケーブルを使って接続しているか確認してください。
・起動しているアプリケーションをすべて終了してください。
・正常に動作しているマウスとキーボードだけを残し、他の USB 機器をすべて取り外してください。その状態で本機をパソコンに接続してください。
・パソコンに複数の USB 端子があるときは、それぞれの USB 端子に順に本機を接続してみてください。
・バスパワー型 USB ハブ（USB 端子分配用周辺機器）に本機を接続している場合は、USB ハブをパソコンから外し、本機をパソコンの USB 端子に直接接続してください。

## 故障かな？と思ったら

販売店にご相談になる前に、下記をお確かめください。直らない場合は、お買い上げの販売店へご相談ください。

### ボタンを押しても反応しない

| | |
|---|---|
| 原因 | 誤操作防止機能（ホールド機能）が設定されている。 |
| 解決方法 | 誤操作防止機能（ホールド機能）を解除してください。<br>（☞ 17 ページ） |

| | |
|---|---|
| 原因 | USB 接続したままである。 |
| 解決方法 | 本機をパソコンから取り外してください。（☞ 55 ページ） |

### 「Sd LOCK」と表示される

| | |
|---|---|
| 原因 | SD カードがロックされている。 |
| 解決方法 | SD カードのロックを解除してください。（☞ 19 ページ） |

### 画面に「-:- -:- -」と表示され再生できない

| | |
|---|---|
| 原因 | 本機で再生できないファイル形式、またはファイルが壊れている。 |
| 解決方法 | 正常に再生できる mp3 形式のファイルをご使用ください。 |

## 「マイク」または「ライン」フォルダ内のファイルが再生できない

| | |
|---|---|
| 原因 | ファイル名が異なる。 |
| 解決方法 | 本機で録音したファイルをパソコンでファイル名を変更すると、マイクまたはラインフォルダに戻しても再生できなくなりますが、音楽フォルダに転送すると再生できるようになります。（☞ 12 ページ） |

## 「音楽」フォルダ内のファイルが再生できない / 正しく再生できない

| | |
|---|---|
| 原因 | ファイル形式が MP3 ではない。 |
| 解決方法 | 正常に再生できる MP3 形式のファイルをご使用ください。 |

| | |
|---|---|
| 原因 | 著作権保護されているファイルは再生できません。 |
| 解決方法 | 著作権保護されていない MP3 形式のファイルをご使用ください。 |

## ファイル分割できない

| | |
|---|---|
| 原因 | メモリの空き容量が足りない。または、ファイルがいっぱいである。 |
| 解決方法 | 不要なファイルを消去してください。（☞ 32 ページ） |

| | |
|---|---|
| 原因 | ファイルの先頭で分割しようとしている。 |
| 解決方法 | 分割したいところまで再生を進めてから、分割してください。 |

## 「NO - Sd」と表示される

| | |
|---|---|
| 原因 | SD カードが正しく挿入されていない。 |
| 解決方法 | 本機のパワー（電源）／ホールドスイッチを「切」にし、再度 SD カードを入れ直してください。 |

| | |
|---|---|
| 原因 | SD カードではなく、中に microSD カード本体が挿入されていない SD アダプターが入っていた。 |
| 解決方法 | SD アダプターに microSD カード本体を挿入してから、再度本機に装着してください。 |

## 録音したファイルに音とびが発生する

| | |
|---|---|
| 原因 | SD カードを本機以外（パソコンなど）でフォーマットした。 |
| 解決方法 | 本機で SD カードをフォーマットしてください。（☞ 32 ページ） |

# よくあるご質問 (Q & A)

## Q：マンガン電池や充電池は使えますか?

A： マンガン電池、ニカド電池は使用できません。アルカリ乾電池のご使用をおすすめします。当社の充電池「エネループ（eneloop)」も使用できますが、アルカリ乾電池に対して電池持続時間は約 70%となります。また、電圧が異なるため、本機の電池残量表示が正しく表示されない場合があります。なお、オキシライド電池も使えますが、電池の持続時間はアルカリ乾電池の場合とほぼ同じになります。

## Q：再生音にガサガサ雑音が入るのはなぜ?

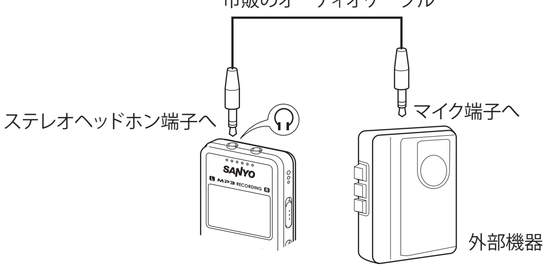
A： 録音中に本体や本体を握っている手や指を動かすと、その音が録音されてしまいます。録音中はできるだけ本体を動かさないでください。また、胸ポケットに入れたまま録音する場合は、タイピン式ステレオマイク（別売）のご使用をおすすめします。

## Q:録音可能時間とは１つのファイルごとの録音可能時間ですか?

A： いいえ違います。
各録音モードの録音可能時間とは、SD カード内に録音ファイルが何もない状態で、録音モードを変えることなく最初から最後まで録音した場合の合計時間です。例えば、1 ファイルで録音残時間がなくなるまで録音すると、ファイルやフォルダを変更しても、それ以上は録音できません。

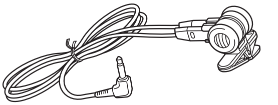
## Q：録音内容をテープ・MD などに保存するには?

A： 市販のオーディオケーブル（ミニプラグ：3.5 φ）を使えば、本機で録音したファイルを簡単にテープレコーダーやＭＤレコーダなどの外部機器にダビングして保存することができます。

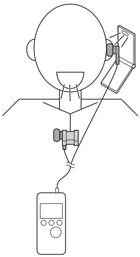


## Q：電話の音声を録音するには？

A： 3WAY ステレオマイク「HM-250」（別売）を使って録音できます。携帯電話や家庭用電話または、ビジネスホンなどの会話を録音するときも便利です。（☞ 23 ページ）



3WAY ステレオマイク「HM-250」



# お手入れ

柔らかい布でふいてください。汚れがひどいときは、柔らかい布でからぶきをしてください。

**ご注意** ベンジンやアルコール、シンナーなどでふいたりすると、変質や変色することがありますので、使用しないでください。また、殺虫剤もかからないようにご注意ください。

## 温度上昇について

本機を長時間お使いになると、本体の温度が上昇することがありますが、故障ではありません。

# 資料

## 仕様

対応メディア ： SDカード、SDHCカード
SDカードの製造メーカーや種類によっては本機で正しく動作しないものもあります。当社基準において動作確認済のカードについては、当社ユーザーサポートページをご確認ください。
http://www.sanyo-audio.com/support/icr/index.html

録音モードと録音可能時間

| | SD/SDHC カードの容量 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 録音モード | 512MB | 1GB | 2GB | 4GB | 8GB |
| HQ<br>ステレオモード | 約5時間30分 | 約 11 時間 | 約22 時間30分 | 約 45 時間 | 約 90 時間 |
| HQLP<br>ステレオモード | 約 17 時間 | 約 33 時間 | 約 68 時間 | 約 136 時間 | 約 272 時間 |
| LP<br>モノラルモード | 約 34 時間 | 約 66 時間 | 約 136 時間 | 約 272 時間 | 約 544 時間 |

※SDカードのメーカー、仕様により、録音時間が短くなることがあります。

対応OS ： Windows Vista/XP/2000

録音周波数特性 ： 60〜20,000Hz（HQステレオモード　192kbps時）
60〜7,500Hz（HQLPステレオモード　64kbps時）
60〜6,500Hz（LPモノラルモード　32kbps時）

録音フォーマット ：MP3

再生フォーマット ： MP3（MPEG1 LAYER3、MPEG2 LAYER3）

再生周波数 ：40〜20,000Hz

サンプリング周波数 ：16〜44.1kHz

再生対応ビットレート ：16〜320kbps
※ファイルによっては正常に再生できない場合があります。

入出力端子 ：USB／ステレオヘッドホン3.5φミニ
ステレオマイク 3.5φミニ

動作温度 ： ＋5℃〜＋35℃

定格出力（ヘッドホン） ：10mW＋10mW（16Ω負荷時、JEITA/DC）

電源　　　　　　　　　：単4形アルカリ乾電池×1
電池持続時間（付属カード使用時）
・連続録音時間
　HQステレオモード　：約19時間（アルカリ乾電池）
　HQLPステレオモード：約29時間（アルカリ乾電池）
　LPモノラルモード　：約33時間（アルカリ乾電池）
　※録音環境　録音LED：OFF、録音モニター：なし
・連続再生時間（ヘッドホン再生）
　HQステレオモード　：約18時間（アルカリ乾電池）
　HQLPステレオモード：約27時間（アルカリ乾電池）
　LPモノラルモード　：約29時間（アルカリ乾電池）
・連続再生時間（スピーカー再生）
　HQステレオモード　：約12時間（アルカリ乾電池）
　HQLPステレオモード：約16時間（アルカリ乾電池）
　LPモノラルモード　：約17時間（アルカリ乾電池）
　※連続録音再生時間は、電池の種類、メーカー、保管状態、使用条件、使用周囲温度、使用するSDカードなどによって変わります。上記の時間はあくまで目安であり、保証するものではありません。
　※アルカリ乾電池以外での動作保証はいたしません。
最大外形寸法　　　　　：約 幅36.6×高さ96×奥行き13.3（mm）
質量　　　　　　　　　：約52g（電池含む）
付属品　　　　　　　　：SDカード（1GB）　(1)
　　　　　　　　　　　：インナーイヤー型ステレオイヤホン　(1)
　　　　　　　　　　　：専用USB接続ケーブル　(1)
　　　　　　　　　　　：単4形アルカリ乾電池　(1)
　　　　　　　　　　　：本書（保証書付）　(1)



※本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

# 保証書とアフターサービス

## 保証書について

- この商品には保証書がついています。お買い上げの際、販売店が発行します。
- 所定事項の記入をご確認のうえ内容をよくお読みになって、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より本体のみ 1 年間です。

## アフターサービスについて

### 調子が悪いときはまずチェックを

この説明書の☞ 60 ページからをもう一度ご覧になってお調べください。

### それでも具合の悪いときはサービスへ

お買い上げ店か、または「お客さまご相談窓口」にご相談ください。
お問い合わせの際、電池を入れるところの内側に貼ってあるラベルに書かれた製造番号（シリアルナンバー）をお知らせください。

### 保証期間中の修理は

保証書の規定に従い、お買い上げの販売店が修理させていただきます。
製品に保証書を添えてご持参ください。

### 保証期間経過後の修理は

修理により機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により有料修理いたします。

### 部品の保有期間について

IC レコーダーの補修用性能部品 ( 製品の機能を維持するために必要な部品 ) の保有期間は、製造打ち切り後 6 年間です。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店または「お客さまご相談窓口」にご相談ください。

# お客様ご相談窓口

## まずはお買い上げ販売店へ

家電製品の修理のご依頼やご相談は、お買い上げ販売店へお申し出ください。

## 転居されたり、贈答品などでお困りの場合は

下記の相談窓口にお問い合わせください。

**総合相談窓口**：家電製品についての全般的なご相談
**修理相談窓口**：修理サービスについてのご相談

## 総合相談窓口（全般的なご相談）<br>三洋電機（株） お客様センター

**相談受付時間　9:00 ～ 18:30（365 日）**

**☎ 050-3116-3434**

※上記番号をご利用できない場合は　**大阪 (06)6994-9570**　におかけください。

※郵便・FAX でご相談される場合

**三洋電機 ( 株 )　お客さまセンター**

FAX　(06)6994-9510

〒 570-8677　大阪府守口市京阪本通 2-5-5

資料

## 家電商品の修理サービスについてのご相談＜三洋電機サービス株式会社＞

受付時間 月曜日～金曜日　[9:00 ～ 18:30]
（7 月～ 8 月は [8:45 ～ 19:30]）
土曜・日曜・祝日・当社休日 [9:00 ～ 17:30]

**東コールセンター**

（050- がご利用できない場合は、東京 03-5302-3401 へおかけください）

| | |
|---|---|
| 北海道地区 | 050-3116-2333 |
| 東北地区 | 050-3116-2444 |
| 関東・甲信越地区 | 050-3116-2222 |

**西コールセンター**

（050- がご利用できない場合は、大阪 06-4250-8400 へおかけください）

| | | |
|---|---|---|
| 近畿地区 | 050-3116-2555 | |
| 中部・北陸地区 | 北陸 | 050-3116-2555 |
| | 中部 | 050-3116-2666　沼津地区は050-3116-2222 |
| 中国・四国地区 | 中国 | 050-3116-2777 |
| | 四国 | 050-3116-2555 |
| 九州地区 | 050-3116-2888 | |

| | |
|---|---|
| 沖縄地区※ | 098-944-5018 |

※受付時間：月曜日～土曜日 9:00 ～ 17:30
（日曜、祝日及び当社休日を除く）

■上記のご相談窓口の名称、電話番号は変更することがありますので、ご了承ください。

## お客さまご相談窓口における　お客さまの個人情報のお取り扱いについて

お客さまご相談窓口でお受けした、お客さまのお名前、ご住所、お電話番号などの個人情報は適切に管理致します。また、お客さまの同意がない限り、業務委託の場合および法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示はおこないません。

**＜利用目的＞**

- お客さまご相談窓口でお受けした個人情報は、商品・サービスに関わるご相談・お問合わせおよび修理の対応のみを目的として用います。なお、この目的のために三洋電機（株）および関係会社で上記個人情報を利用することがあります。

**＜業務委託の場合＞**

- 上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を行わせるとともに、適切な管理・監督をいたします。

**個人情報のお取り扱いについての詳細は、ホームページ**
**http://www.sanyo.co.jp をご覧ください。**

資料

## 持込み修理および部品についてのご相談<三洋電機サービス株式会社>

受付時間　　月曜日～土曜日 9:00 ～ 17:30
（日曜、祝日及び当社休日を除く）

ご相談は、各地区サービスセンターで承っております。最寄の拠点は下記一覧もしくは弊社ホームページでご確認ください。

http://www.sanyo.co.jp

| | | | |
|---|---|---|---|
| **北海道地区** | | | |
| 札幌 | (011) 831-9201 | 〒003-0013 | 札幌市白石区中央三条4-1-36 |
| 函館 | (0138) 48-8301 | 〒041-0824 | 函館市西桔梗町589-295 |
| 旭川 | (0166) 22-2421 | 〒070-0073 | 旭川市曙北三条7-3-3 |
| 北見 | (0157) 23-4871 | 〒090-0037 | 北見市山下町4-7-14 |
| 釧路 | (0154) 22-1576 | 〒085-0035 | 釧路市共栄大通3-1-6 |
| **東北地区** | | | |
| 仙台 | (022)287-8351 | 〒984-0032 | 仙台市若林区荒井字丑ノ頭43-1 |
| 青森 | (017)729-3401 | 〒030-0141 | 青森県青森市上野字山辺29-5 |
| 盛岡 | (019)623-1600 | 〒020-0824 | 岩手県盛岡市東安庭2-12-1 |
| 山形 | (023)641-1769 | 〒990-2331 | 山形県山形市飯田西4-5-35 |
| 秋田 | (018)862-6551 | 〒011-0901 | 秋田県秋田市寺内イサノ93-1 |
| 郡山 | (024)945-6793 | 〒963-0107 | 福島県郡山市安積3-120 |
| **関東・甲信越地区** | | | |
| さいたま | (048) 778-3095 | 〒362-0025 | 埼玉県上尾市上尾下780-1 |
| 坂戸 | (049) 284-8900 | 〒350-0214 | 埼玉県坂戸市千代田5-3-17 |
| 宇都宮 | (028) 614-3883 | 〒321-0111 | 栃木県宇都宮市川田町字免ノ内765-5 |
| つくば | (0298) 64-4751 | 〒300-3261 | 茨城県つくば市花畑2-15-3 |
| 水戸 | (029) 251-4125 | 〒311-4152 | 茨城県水戸市河和田3-2386-1 |
| 伊勢崎 | (0270) 40-7611 | 〒372-0003 | 群馬県伊勢崎市華蔵寺町87-1 |
| 大泉 | (0276) 63-4401 | 〒370-0524 | 邑楽郡大泉町古海541-9 |
| 新潟 | (025) 285-2431 | 〒950-0942 | 新潟県新潟市中央区小張木2-16-43 |
| 長岡 | (0258) 46-8065 | 〒940-2127 | 長岡市新産2-8-6 |
| 城東 | (03) 5697-8160 | 〒120-0005 | 東京都足立区綾瀬7-22-15綾瀬7丁目ビル |
| 城北 | (03) 5914-3413 | 〒174-0051 | 東京都板橋区小豆沢1-23-10 |
| 城西 | (03) 5347-0761 | 〒167-0032 | 東京都杉並区天沼3-12-12テック杉並 |
| 武蔵野 | (042) 364-7721 | 〒183-0033 | 東京都府中市分梅町5-9-1 |
| 横浜 | (045) 827-2831 | 〒224-0806 | 神奈川県横浜市戸塚区上品濃9-14 |
| 京浜 | (044) 740-3530 | 〒221-0041 | 川崎市中原区下小田中5-11-21 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 平　　塚 | (0463) 55-3926 | 〒254-0014 | 平塚市四之宮3-20-60 |
| 相 模 原 | (042) 788-2760 | 〒194-0012 | 東京都町田市金森851-3 |
| 千　　葉 | (043) 208-3800 | 〒260-0842 | 千葉県千葉市中央区南町3-7-15 |
| 鎌 ケ 谷 | (047) 441-0111 | 〒273-0105 | 千葉県鎌ケ谷市鎌ケ谷7-6-59 |
| 甲　　府 | (055) 226-2561 | 〒400-0035 | 山梨県甲府市飯田4-8-23 |
| **中 部 地 区** | | | |
| 名 古 屋 | (052) 485-3620 | 〒453-0816 | 愛知県名古屋市中村区京田町2-1 |
| 岡　　崎 | (0564) 23-3418 | 〒444-0009 | 岡崎市小呂町字2丁目30番地 |
| 岐　　阜 | (058) 246-3417 | 〒501-6006 | 岐阜県羽島郡岐南町伏屋1-35 |
| 静　　岡 | (054) 236-0691 | 〒422-8034 | 静岡市駿河区高松2-26-10 |
| 沼　　津 | (055) 935-0501 | 〒410-0822 | 静岡県沼津市下香貫七面1152-2 |
| 浜　　松 | (053) 461-8685 | 〒430-0812 | 静岡県浜松市南区本郷町123 |
| 松　　本 | (0263) 40-3411 | 〒390-0852 | 長野県松本市島立1064-1 |
| 金　　沢 | (076) 292-2060 | 〒921-8005 | 石川県金沢市間明町2-100 |
| 富　　山 | (076) 422-7020 | 〒939-8211 | 富山県富山市二口町1-13-8 |
| 福　　井 | (0776) 53-7134 | 〒910-0834 | 福井県福井市丸山1-1002 |
| 津 | (059) 236-5195 | 〒514-0111 | 三重県津市一身田平野285-2 |
| **近 畿 地 区** | | | |
| 大　　阪 | (06) 6992-6235 | 〒570-0086 | 大阪府守口市竹町4-13 |
| 大 阪 南 | (06) 6761-4600 | 〒543-0001 | 大阪府大阪市天王寺区上本町5-1-14 三洋ビル2F |
| 大 阪 東 | (072) 965-1811 | 〒578-0903 | 東大阪市今米2-3-29 |
| 阪　　和 | (072) 221-8571 | 〒590-0026 | 大阪府堺市堺区向陵西町2-1-24 |
| 京　　都 | (075) 672-0877 | 〒601-8135 | 京都市南区上鳥羽石橋町8 NTTコミュニケーションズ京都南ビル |
| 福 知 山 | (0773) 24-3405 | 〒620-0062 | 福知山市和久市町290和久市岩堀ビル2階 |
| 奈　　良 | (0744) 22-7888 | 〒634-0817 | 奈良県橿原市寺田町113-1 |
| 滋　　賀 | (077) 514-2221 | 〒524-0021 | 滋賀県守山市吉身4-1-24南井産業第3ビルB棟 |
| 和 歌 山 | (073) 473-7112 | 〒640-8301 | 和歌山県和歌山市岩橋1636-1 |
| 神　　戸 | (078) 651-3951 | 〒652-0813 | 神戸市兵庫区兵庫町2-2-18 |
| 阪　　神 | (06) 6432-3401 | 〒661-0026 | 兵庫県尼崎市水堂町4-17-6 |
| 姫　　路 | (0792) 82-7892 | 〒670-0943 | 兵庫県姫路市市之郷町1-9 |
| 淡　　路 | (0799) 42-6015 | 〒656-0478 | 兵庫県南あわじ市市福永536-1 |
| **中 国 地 区** | | | |
| 広　　島 | (082) 293-6511 | 〒733-0012 | 広島県広島市西区中広町2-1-2 |
| 福　　山 | (084) 954-4101 | 〒721-0952 | 広島県福山市曙町4-22-10 |
| 岡　　山 | (086) 245-1634 | 〒700-0973 | 岡山県岡山市下中野703-101 |
| 鳥　　取 | (0857) 24-2930 | 〒680-0843 | 鳥取県鳥取市南吉方3-107 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 松　江 | (0852) 23-1183 | 〒690-0044 | 島根県松江市浜乃木2-15-3 |
| 山　口 | (083) 973-3391 | 〒754-0024 | 山口県山口市小郡若草町2-6 |
| **四国地区** | | | |
| 松　山 | (089) 979-3486 | 〒799-2655 | 愛媛県松山市馬木町2057 |
| 四国中央 | (0896) 23-3416 | 〒799-0404 | 四国中央市三島宮川2-732-4 |
| 高　松 | (087) 843-1840 | 〒761-0101 | 香川県高松市春日町片田1657-1 |
| 高　知 | (088) 885-3411 | 〒781-8121 | 高知県高知市葛島2-8-9 |
| 徳　島 | (088) 699-4131 | 〒771-0219 | 徳島県板野郡松茂町笹木野字八北開拓189-1 |
| **九州地区** | | | |
| 福　岡 | (092) 441-2541 | 〒812-0016 | 博多区博多駅南4-6-23 |
| 北九州 | (093) 521-5286 | 〒802-0004 | 福岡県北九州市小倉北区鍛治町2-4-7 |
| 久留米 | (0942) 37-3934 | 〒830-0038 | 久留米市西町105-18 |
| 長　崎 | (095) 813-3545 | 〒851-0101 | 長崎県長崎市古賀町1006-5 |
| 佐世保 | (0956) 31-7635 | 〒857-1162 | 佐世保市卸本町17-1 |
| 熊　本 | (096) 388-3434 | 〒861-8045 | 熊本県熊本市小山3-2-11熊本トラックターミナル内 |
| 大　分 | (097) 543-3454 | 〒870-0829 | 大分県大分市椎迫5-6組 |
| 宮　崎 | (0985) 29-3441 | 〒880-0022 | 宮崎県宮崎市大橋3-224 |
| 鹿児島 | (099) 251-4615 | 〒890-0068 | 鹿児島県鹿児島市東郡元町11-10 |
| **沖縄地区** | | | |
| 沖　縄 | (098) 944-5018 | 〒903-0103 | 沖縄県中頭郡西原町小那覇1303<br>沖縄三洋販売（株） サービス部 |

(010808M)

☆住所・電話番号は、ご通知なしに変更することがありますので、ご了承ください。

# 無料修理規定

お買い上げの日から保証期間中に、取扱説明書、本体ラベルその他の注意書きに従った使用状態で故障した場合には、本書記載内容にもとづき、お買い上げの販売店が無料修理いたしますので、商品と本書をご持参ご提示ください。

1. 保証期間でも次のような場合には有料修理となります。
   イ. 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
   ロ. お買い上げ後の取付場所の移動、落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
   ハ. 火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障または損傷。
   ニ. 業務用としての使用、車両・船舶への搭載など一般家庭以外に使用された場合の故障または損傷。
   ホ. 本書の提示がない場合。
   ヘ. 本書にお買い上げ年月日、お客さま名、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
   ト. 消耗品の交換・仕様変更など。
2. 保証期間内でも商品を修理窓口へ送付された場合の送料や出張修理をおこなった場合の出張料はお客様の負担となります。
3. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4. ご贈答品等で本書に記入の販売店に修理をご依頼になれない場合には、「お客さまご相談窓口」をご覧のうえ、もよりの窓口にお問い合わせください。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   Effective only in Japan.
6. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

資料

この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明な場合は、お買い上げの販売店または「お客さまご相談窓口」にお問い合わせください。

- **保証期間経過後の修理または補修用性能部品の保有期間について詳しくは「保証書とアフターサービス」をご覧ください。**

# 三洋電機株式会社

**デジタルシステムカンパニー　国内販売担当**

〒574-8534　大阪府大東市三洋町1番1号

ユーザーサポートホームページアドレス　http://www.sanyo-audio.com/support/index.html


(JP1)　1AJ6P1P0048--A